



2024.07.23

報道関係各位

アストンマーティン ジャパン

アストンマーティンのハイパーカー Valkyrie AMR-LMH が初のサーキット走行

- アストンマーティンの Valkyrie AMR-LMH が開発テスト走行を開始、Heart of Racing とともに、ル・マン 24 時間トップクラスへの振り返りを目指す
- 2025 年の FIA WEC 世界耐久選手権と IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権出場に向けた、複数サーキットでの本格的な準備プログラムを前に、シェイクダウンテストと最初のインストラクション走行を実施
- Valkyrie AMR-LMH は来年、WEC・IMSA 両選手権に出場する初めてのハイパーカーになろうとしている
- Valkyrie AMR-LMH は、今回の参加車の中で唯一ロードカーにルーツを持つ、究極のハイパーカー
- アストンマーティン・パフォーマンス・テクノロジーズと Heart of Racing は、今年後半の FIA ホモロゲーション取得に向けて緊密に連携し Valkyrie AMR-LMH の開発を進めている



2024 年 7 月 22 日、ゲイドン（英国）：

英国のウルトラ・ラグジュアリー・スポーツカー・ブランドであるアストンマーティンが、Heart of Racing と共に 1959 年以來の総合優勝を狙って挑む来年のル・マン 24 時間レースに向けた包括的なテストプログラムを開始し、新型アストンマーティン Valkyrie AMR-LMH が初めてサーキットを走行。

今週、アストンマーティン・パフォーマンス・テクノロジーズとワークスチームの **Heart of Racing** が開発した新型ハイパーカーValkyrie AMR-LMH は英国でシェイクダウンと初期評価試験を終えました。アストンマーティンのハイパフォーマンス・デベロップメント・ドライバーであるダレン・ターナー（英国）と **Heart of Racing** のマリオ・ファーンバッハー（ドイツ）、2020年にアストンマーティンでル・マン 24 時間レース LMGTE クラス優勝を果たしたハリー・ティンクネル（英国）がドライバーを務めました。

今後アストンマーティンは **Heart of Racing** と共に、今秋の FIA ホモロゲーション取得と 2025 年初頭の競技デビューに向けて一連の本格的なテスト走行日程を進めていきます。アストンマーティン Valkyrie AMR-LMH は、ハイパーカー・レギュレーションに則って製造されたレーシングカーとしては初めて、FIA 世界耐久選手権および北米の IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権の両方に出場します。

アストンマーティン Valkyrie AMR-LMH は、世界耐久レースのトップカテゴリであるハイパーカー・クラスの中で、現行で市販されている究極のハイパーカーValkyrie にルーツを持つマシンとして異彩を放っています。ワークスチームである **Heart of Racing** は、2025 年は WEC に Valkyrie AMR-LMH を 2 台、IMSA には 1 台を投入します。

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者のアダム・カーターは、次のように述べています。「Valkyrie AMR-LMH は生粋の耐久レース車両として、独自の基準を自らに課しています。純粋な、最先端のレーシングマシンです。まだテストサイクルのほんの初期段階ですが、これまでのところ我々が設定した目標・基準をクリアできており、満足しています」

Valkyrie AMR-LMH はレース用に最適化したカーボンファイバー製のシャシーを用い、標準仕様で最高回転数 11,000rpm、最高出力は 1,000bhp を超える驚異的なコスワース製自然吸気 6.5 リッターV12 エンジンのリーンバーン版を搭載しています。パワーユニットは、トップレベルで長距離を戦う過酷な条件にも耐え得る、ハイパーカー・クラスのパフォーマンスウィンドウに合わせて強化、調整しています。

Heart of Racing は先日、シルバーストンを拠点とするアストンマーティン・パフォーマンス・テクノロジーズの協力の下、レーシングカー製造拠点の近くに、WEC プログラムの英国チーム本部を設立しました。チームは Valkyrie AMR-LMH の開発とテストのプログラムを監督し、性能評価が優先されるようになる夏には、英国からヨーロッパ本土のサーキットへと場所を移す予定です。

Heart of Racing のチーム代表を務めるイアン・ジェームズは次のように述べています。

「Valkyrie AMR-LMH の最初の走行は、プログラムにおいて最高に誇らしい瞬間でした。数年前から動いているプロジェクトだったので、レーストラックに実物を持ち込んでそれが周回しているさまを目にするのは、**Heart of Racing** にとって極めて感慨深いものがあります。今後の日程はプロジェクト関係者全員にとって険しい道のりとなりますが、楽しみでもあります。ス

ポーツカーレースの頂点の舞台にあって、ライバルは手強く、経験豊富です。中には無限のリソースを持つ相手もいます。最高峰に君臨する面々に挑戦するわけですから、アストンマーティンを代表して同じレベルで戦いたいと考えています。これまでの結果と、この車を生み出したDNAを考えると、成功の要素はそろっていると確信しています」

アストンマーティンと Heart of Racing は、米国を中心に開催される IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権の GTP クラスにも Valkyrie AMR-LMH の投入を計画しています。IMSA への出場は、北米にある Heart of Racing のフェニックス本部を拠点に行われます。

今回のハイパーカー・クラス出場で、アストンマーティンは耐久レースにおいてジェントルマンレーサーから同競技の頂点に至るまで、すべての種目に参戦することになります。実際、2025 年からは、スポーツカーおよび GT レースの全レベル（ハイパーカーから GT4 まで）と FIA フォーミュラ 1®世界選手権すべての出場を果たす、唯一のメーカーとなります。

アストンマーティンはル・マンでは過去 95 年間にわたり、つまり第一回大会を開催してから実質その時代をずっと共にし、240 人を超えるドライバーが 27 のシャシーとエンジンの組み合わせでレースを戦ってきました。アストンマーティンにこれほどまでの成功をもたらし、アストンマーティンの DNA がまさに競争の本質から生み出されてきたものであることを揺るぎなく証明した舞台は、ル・マンにおいて他にありません。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-gOgugphD4l>

アストンマーティン・ラグondaについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、DBS、DBXに加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステイナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは2025年から2030年にかけて、PHEVとBEVを含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上の国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda
Head of Regional Marketing & Communications-Asia Pacific
有澤 久美子

kumiko.arisawa@astonmartin.com

Marketing & Communications Manager-Japan
松永 悠理

yuri.matsunaga@astonmartin.com

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pibc.co.jp